



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

平成 29 年 6 月 30 日 (金) No. 4
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

聞くこと 実行すること 工夫すること

校長 新井 篤志

6月19日(月)～21日(水)に6年生の赤城・日光宿泊体験学習が行われました。1日目・2日目は天候に恵まれ、時間に余裕をもって予定していた活動に取り組むことができました。3日目は日本中が大雨の日でしたが、華厳の滝を見ることができ、改修された日光東照宮の陽明門等を目の当たりにすることができました。6年生の宿泊体験学習をもって、全学年が遠足や宿泊体験学習を終えることができました。こうした教育活動を通して、学年・学級が1つの目当てに向かって取り組むことで、子どもたち一人ひとりが成長するきっかけになるとともに、学年・学級としての絆が深まることを期待しています。

6年生の宿泊体験学習のめあての1つに「話を静かに聞く」というのがありました。「聞く」ということは、一見受け身のようにとらえがちですが、実はとても能動的な活動です。自分の意思がしっかりとあって行う行為で、今盛んに教育改革の中で叫ばれている主体的な活動を代表するものと考えます。10年以上前に東京都内にある私立高校の校長先生方に「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの活動で一番大切なのはどれかをアンケートをとったことがありました。

その結果は「聞く」が8割近くをしめました。また、授業力に定評のある先生方に指導で大切にしていることを尋ねたところ、「聞くこと」の指導に力を入れているという話が共通して多くの先生方から聞かれました。これらから、自分の話を友達が真剣に聞いてくれるからこそ自分の思いを話したくなり、互いの意見交換が促され、今の時代に特に求められているコミュニケーション能力の育成につながると思います。そして、他者の考えに触れ、自分の見方や考え方を広げたり深めたりすることで、子ども自身の考える力がついてくることにもつながるのではないのでしょうか。

今話題になっている将棋の世界で、羽生善治三冠も、自分の経験を踏まえて「人の話を聞くこと」が自分を成長させていく上で基本であることを述べています。羽生氏は、『聞いたら実行することがさらに自分を高めていくことになる。』と聞くことの先についても触れています。これは、試行錯誤の大切さだと思います。そして、最後に、『超一流といわれる人は実行するときに、いつも何か工夫ができないかを考えながら取り組んでいる。』とも言います。

「聞くこと」「実行すること」「工夫すること」は誰もが意識をすれば行うことができると考えます。ごく普通に思えることを意識しながら取り組み続けることが、努力というものなのではないのでしょうか。この3つのことを日々の指導の中で大事にしたいと考えます。

《丸山台小学校ホームページ更新のお知らせ》

平成29年度中期学校経営方針、学力向上アクションプラン、豊かな心育成プラン、体育・健康プラン、いじめ防止、28年度決算報告、29年度予算案などを更新いたしました。